



日本労働組合総連合会
山梨県連合会 (略称 連合山梨)

No.422 2026.8.4

れんごう

YAMANASHI

安心社会へ 果敢にアクション! ~広げよう「理解・共感・参加」の輪~

最低賃金 2026年度引き上げ額を審議

最低賃金、全国平均55円の引き上げへ!

~都市部と地方の「金額の差」を小さくする配慮も~

中央最低賃金審議会は、2026年度の地方最低賃金引き上げ額の目安を審議する小委員会を開催。7月28日(火)第6回目の小委員会において、全国平均で55円引き上げる答申案をまとめました。

これまで労働者側は、生活必需品を中心とした物価上昇が継続する中で、最低賃金近くで働く労働者の購買力を維持・改善し、実質的な生活の安定を図るため大幅な引き上げを求めてきました。また、地方部から都市部への労働力流出を防ぎ、地域経済の持続性を高める観点からも、地域間格差の縮小・是正を強く主張してきました。

審議では、労働者側と経営側の双方が「引き上げは必要」という考えで一致したものの、物価高や春闘での賃上げ実績を理由に「もっと引き上げるべきだ」と主張する労働者側と、原材料費の値上がりや人件費の増加で苦しむ中小企業へ配慮し「無理のない引き上げにしてほしい」と主張する経営側との間で、じっくりと議論が重ねられました。

最低賃金は、働くすべての人に最低限支払わなければならない時給の基準です。国は都道府県を経済状況などに応じてA・B・Cの3つのグループに分けて引き上げの目安を示しています。

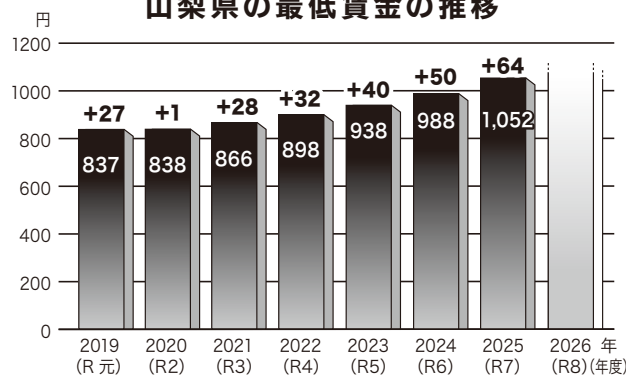
今年度の目安は、大都市圏を中心とするAランクが「54円」、山梨県を含むBランクとCランクが「56円」と示されました。地方の引き上げ額を都市部より高く設定したことで、全国の「一番高い地域」と「一番低い地域」の差が小さくなるよう配慮された内容になっています。

今後は、この目安をもとに「山梨県地方最低賃金審議会」において、山梨県の具体的な引き上げ額を決定していくこととなります。

連合山梨は、地方最低賃金審議会の労働側委員として、山梨県で働く皆さんの生活を守り、安心して働き続けられる環境をつくるため、今後の審議でも適切な賃金の引き上げに向けてしっかりと取り組んで参ります。

副事務局長 船渡 義昭

山梨県の最低賃金の推移



連合山梨 2026 春季生活闘争

闘争情報

第7回集計 (7月24日現在 8月4日公表)

平均賃上げ集計 (加重平均)	規模計	2026年回答妥結			2025年回答妥結		
		組合数	金額	率	組合数	金額	率
		53	14,605	4.58	56	14,891	4.91

「規模計」平均賃上げ要求組合全体 2025年は昨年同時期の回答妥結状況

交渉進捗状況	全 体 18構成組織 98組合					地 場 9構成組織 28組合				
	要求	妥結	交渉中	要求せず	未定	要求	妥結	交渉中	要求せず	未定
	83	79	4	3	2	23	23	0	3	2

格差是正
均等待遇



〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目7-17 労農福祉センター内
TEL.055-228-0050 FAX.055-222-1189

URL: <http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/>
E-mail: info@yamanashi.jtuc-rengo.jp

発行人 宮下 竜三



RENGO_YAMANASHI



Facebook



Homepage

6

23~25
TUE THU

連合山梨

平和行動in沖縄



戦争の記憶を未来へつなぐ

6月23日(火)から25日(木)まで、「平和行動in沖縄」に10名で参加しました。

期間中は、「連合平和オキナワ集会」への参加をはじめ、ピースフィールドワークとして「糸数アブチラガマ」や「ひめゆりの塔」、「魂魄の塔」などを訪れました。沖縄戦の激戦地を実際に訪れ、資料や映像だけでは感じる事の出来ない戦争の現実に触れることができました。

特に印象に残ったのは、糸数アブチラガマです。暗く狭い壕の中は野戦病院として使用され、多くの負傷者や住民が身を寄せていました。当時の状況を想像すると、戦争が人間の尊厳や当たり前の日常をいかに奪うものであるかを痛感しました。また、ひめゆりの塔では、学徒隊として戦場に動員された若者たちの歴史を学びました。教育を受け、未来への希望を抱いていた若者たちが命を落とした事実が胸に締め付けられる思いでした。



ひめゆりの塔

魂魄の塔には、国籍や軍民の区別なく多くの犠牲者が祀られています。戦後81年を迎えた今なお遺骨収集が続く現実、戦争はまだ終わっていないことを私たちに問いかけています。

現在、日本を取り巻く安全保障環境は大きく変化し、沖縄は再び安全保障政策の最前線に位置づけられています。このような時代だからこそ、平和の尊さと命の重みを改めて考える必要があります。平和は決して当たり前には与えられるものではなく、私たち労働者一人ひとりが守り育てていくものです。

今回の沖縄での学びを職場や地域に持ち帰り、若い世代とともに平和について語り合い、その尊さを次代へつないでいきたいと思います。平和は願うだけでは守れません。戦争の記憶を風化させることなく、一人ひとりが行動し続けることの大切さを胸に刻んだ3日間となりました。

副事務局長 日野原 和貴



平和行動in沖縄 参加者		○印=団長
氏名	産別名	単組名
○日野原和貴		
嶋田 拓郎	日 教 組	山 教 組
加藤 翔		
河崎 瞭		
赤坂 耕平	自 治 労	中 央 市 職
武田 俊樹		
大村 健介	J A M	キ ト ー 労 組
山村 東奈		
野中 広俊	J R 総 連	J R 東 労 組
白倉 範人	情 報 労 連	N T T 労 組

(敬称略)

7

3
FRI

連合山梨

平和行動inやまなし



7月3日(金)山梨県立図書館において、『願う』平和から『叶える』平和へ、つなげようニッポン!』をスローガンに、平和行動inやまなしを約100名参加のもと開催しました。主催者代表の杉原会長による挨拶に続き、来賓の方々からの挨拶をいただきました。その後、参加者全員でこれまでの戦没者の方々の追悼と不戦の誓いを込め、黙祷を捧げました。

続いて、初代高校生平和大使の小寺輪子さんから活動報告をいただきました。次世代を担う若者として真摯な決意や、日々取り組まれている



平和活動について語っていただきました。また、上映された資料映像、甲府空襲の記録「炎の証言」からは、戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて学び直す機会となりました。

最後に、山梨県教職員組合中巨摩支部 田中書記長の「やまなしアピール」が採択され、参加者一同、平和な社会の実現に向けそれぞれの場所で一歩踏み出す決意を固め、閉会いたしました。

連合山梨は、今後も継続して恒久平和の実現に向けた取り組みを行って参ります。

事務局担当 深野 和代



7
1~7
WED TUE**第45回甲府空襲 戦争と平和・環境展****平和への願いを次世代に伝えていくことの大切さ**

1945年7月6日夜から7日未明にかけて、甲府は火の海と化しました。多くの犠牲者を出した甲府空襲の事実や、戦争の恐ろしさと平和の大切さを伝えるため、県立図書館を会場に「第45回甲府空襲戦争と平和・環境展」を開催しました。会場には、甲府空襲を中心とした国内外の戦争に関する展示品が約370点並び、2,500人以上が来場しました。



小中学校からの団体見学、戦争体験者の語り聞かせ、退職女性教職員による大型紙芝居の上映を行い、1,000人を超える子どもたちが学びを深めました。真剣に学ぶ子どもたちの姿から、平和への願いを次世代に伝えていくことの大切さを実感しました。

甲府空襲展実行委員会 山教組 保坂 雄祐



戦争と平和について考えてみよう!

第32回

大月空襲・戦争と平和展

- 日時 8月 8日(土)・9日(日)
8日(土)は午前9時～午後6時まで
9日(日)は午前9時～午前11時まで
- 場所 大月市民会館1Fロビー
- 主催 大月市平和を考える会(事務局 0554-22-1811)
- 後援 連合山梨東部地域協議会 山教組北都留支部 他

金属部門連絡会7
25
SAT**親子ものづくり教室を開催****親子で挑む「四輪モータートラック」作り! ものづくりの楽しさを体験**

連合山梨金属部門連絡会では、子どもたちにもものづくりの楽しさを伝え、親子の絆を深める「親子ものづくり教室」を7月25日(土)、労農福祉センターで開催し、親子9組21名にご参加をいただきました。

今回は小学3～6年生を対象に、単三乾電池で動く「四輪モータートラック」の製作に挑戦しました。少し難しい配線や組み立ての工程に悪戦苦闘しながらも、子どもたちは真剣な表情で作業に没頭。保護者の皆さまも温かく見守りながら優しくサポートし、親子で協力して完成をめざしました。

トラックの外観デザインには流行りのキャラクターシールなどを多数用意し、自由に貼ってもらったことで個性あふれる



る装飾が目立ちました。完成の瞬間、自分だけの「デコトラ」が勢いよく走り出すと、会場は「動いた!」「すごい!」という大きな歓声と拍手に包まれました。目を輝かせて愛車を走らせる子どもたちの姿に、運営スタッフ一同もたくさんの元気と笑顔をもらい、一緒に楽しい時間を過ごさせていただきました。

親子で力を合わせて一つのものを仕上げた経験は、かけがえない夏の思い出となったことと思います。当連絡会では、子どもたちの理数離れや製造業離れを防ぎ、次世代へ「ものづくりの原点」を伝えていくため、今後もこの活動を大切に継続して参ります。

副事務局長 船渡 義昭



山梨退職連合 6 22 MON 研修会

健やかな暮らしを支える技術と情熱を学ぶ！

山梨退職連合は、6月22日(月)に研修会を開催し、15名が参加して株式会社ヤクルト本社富士裾野工場を見学しました。

同工場は、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」をはじめとする代表商品の製造や、安全・安心な品質管理の取り組みを紹介する先進的な生産拠点です。

1935年、創始者の代田稔博士が「予防医学」の志のもと、乳酸菌の培養に成功したことから歴史が始まりました。この乳酸菌は博士の名にちなんで「シロタ株」と命名されたことや、「ヤクルト」という言葉が世界共通語のエスペラント語でヨーグルトを意味する「ヤフルト」を由来とする造語であることなど、世界共通の「健康」への願いが込められた深い歴史を学びました。

オートメーション化された最新鋭の製造工程を見学したほか、長年の乳酸菌研究を活かして化粧品や医薬品、さらには青汁(大麦若葉)を練り込んだ独自の「即席ラーメン」まで製造販売しているという幅広い分野への挑戦を知ることができ、一同驚かされました。

経験とノウハウを活かして多角的な視点から社会のニーズに挑戦し、かつ、絶対的な安全性を追求していく。ものづくりの原点や健康への情熱に触れ、参加した会員にとって本当に良い勉強の機会となりました。

副事務局長 船渡 義昭



VANTFORETH
KOFU

ヴァンフォーレ甲府『ホームゲームチケット』の抽選について

指定席 箇所 J I Tリサイクルインクスタジアム
メインスタンド B7列 102番・103番

申込方法 申込書(コピー可)にご記入のうえ、
観戦希望日2週間前の金曜日 午前中までに
下記の「チケット抽選申込書」にご記入いた
だき、連合山梨宛にご送付ください。

※ ご不明な点はご自身の加盟されている労働組合
へご確認ください。

2026/27明治安田J2リーグ ホームゲーム日程

第4節	8/29 (土) 19:00	北海道コンサドーレ札幌
第6節	9/12 (土) 19:00	ジュビロ磐田
第7節	9/19 (土) 19:00	徳島ヴォルティス
第9節	10/3 (土) 16:00	カターレ富山

※ キーリット線

『ヴァンフォーレ甲府!ホームゲームチケット』抽選申込書

試合希望日	月 日 () 曜日
産別名	
単組名	
氏名	フリガナ
連絡先	日中、連絡の取れる電話番号をご記入下さい ☎ — —

ヴァンフォーレ甲府のホーム
ゲームチケットをご希望の方は、
枠内をご記入のうえ、
連合山梨宛にご送付下さい。
申し込みは、試合観戦希望日
2週間前の金曜日の午前中まで
となります。

連合山梨

Fax 055-222-1189

**info@yamanashi.
jtuc-rengo.jp**